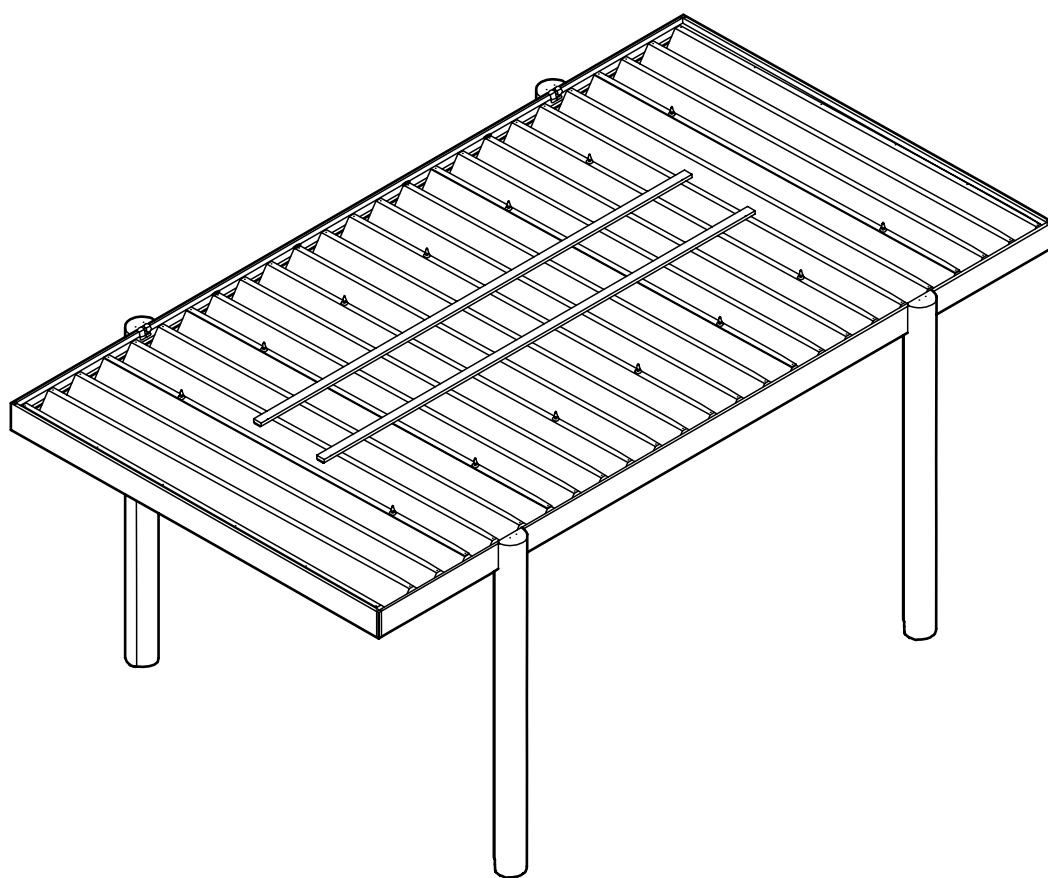


プロポート 積雪地

取 付 説 明 書



C O N T E N T S

目 次	
施工上のご注意	1
施工の前に(梱包確認表)	2
(梱包明細表)	3
基本タイプ	5
縦連棟タイプ	13
横連棟タイプ	16

- ◆このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
- ◆正しく安全な施工、組付／組立をしていただくために、必ず取付説明書をお読みください。

施工上のご注意

■安全な施工を行なうために、次のことを必ず実行してください。

- 施工時は、軍手・安全靴・ヘルメットなどを身に付けて、ケガをしないように保護してから施工を始めてください。
- 部材が重量物の場合、運搬・取付作業は2人以上で行なってください。(ケガのおそれがあります。)

■設置場所の確認

- 施工場所に寸法的に正しくおさまるか確認してください。
- 主屋の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。(カーポート)
- 施工場所の気象条件(風、雪など)に合った商品かどうか確認してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。

■規格表、梱包明細で必要な部材、部品がそろっているか確認してください。

■組立、施工途中では

- ボルト、ビスは弊社純正品の規定本数を確実に締め付け固定してください。
- 取付説明書の順序どおりに組付けてください。手順を違えますと製品の強度など、性能を低下させる場合があります。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 表面にキズをつけた場合、腐食の原因となりますので補修塗料で補修してください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

■基礎工事について

- 基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決めてありますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 塩分を含む砂は使用を避けてください。腐食の原因となります。やむをえず使用する場合は、十分水洗いしたものを使用してください。
- コンクリート(またはモルタル)には、急結剤は使用しないでください。使用しますとアルミが腐食する原因となります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良や腐食の原因となります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに拭き取ってください。

■製品の改造は絶対にしないでください。

■組立完成後はボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。

■施工終了後、取扱説明書を施主様にお渡しください。

施工の前に

梱包確認表

それぞれお買い上げの型式のセット梱包数をご確認ください。

■プロポート積雪地用

梱 包 名 称		員 数													
		基 本				縦 連 棟				横 連 棟					
		27-50型	30-50型	27-56型	30-56型	27-50-50型	30-50-50型	27-56-56型	30-56-56型	27-27-50型	30-30-50型	27-27-56型	30-30-56型		
桁セット	積雪地用50型 (勾配上)	1	1	—	—	2	2	—	—	2	2	—	—		
	積雪地用56型 (勾配上)	—	—	1	1	—	—	2	2	—	—	2	2		
	積雪地用50型 (勾配下)	1	1	—	—	2	2	—	—	2	2	—	—		
	積雪地用56型 (勾配下)	—	—	1	1	—	—	2	2	—	—	2	2		
前後桁セット		積雪地用 27型	1	—	1	—	2	—	2	—	2	—	2	—	
		積雪地用 30型	—	1	—	1	—	2	—	2	—	2	—	2	
積雪地用部品セット		50型用	1	1	—	—	2	2	—	—	1	1	—	—	
		56型用	—	—	1	1	—	—	2	2	—	—	1	1	
積雪地横連棟用部品セット		50型用	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—		
		56型用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1		
縦連棟部材セット		27型	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—		
		30型	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—		
横連棟部材セット		50型	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—		
		56型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1		
柱セット		基本用 (2本入)	2	2	3	3	4	4	6	6	2	2	3	3	
		横連棟用 (2本入)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	
		横連棟用 (1本入)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	
遮 光	※ 1 屋根材セット (スチール折板)	27型 (2枚入)	4	—	4	—	6	—	8	—	6	—	8	—	
		30型 (2枚入)	—	4	—	4	—	6	—	8	—	6	—	8	
		27型 (1枚入)	—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	2	—	
		30型 (1枚入)	—	—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	2	
	※ 1 屋根材セット (スチール折板)	27型 (2枚入)	3	—	3	—	6	—	6	—	6	—	6	—	
		30型 (2枚入)	—	3	—	3	—	6	—	6	—	6	—	6	
		27型 (1枚入)	—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	2	—	
		30型 (1枚入)	—	—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	2	
	※ 1 屋根材セット (ポリカーボネート折板)	27型 (2枚入)	1	—	1	—	2	—	2	—	2	—	2	—	
		30型 (2枚入)	—	1	—	1	—	2	—	2	—	2	—	2	
		ポリカーボネート折板用※ 1 補強部材	50型 (1本入)	1	1	—	—	2	2	—	—	2	2	—	—
			56型 (1本入)	—	—	1	1	—	—	2	2	—	—	2	2
梱包合計数		10or11	10or11	12or13	12or13	21or23	21or23	25or27	25or27	20or22	20or22	24or26	24or26		

※1 屋根材セットは「遮光タイプ」または「採光タイプ」を選択します。

梱包明細表

■柱セット(2本入)

名 称	員 数
柱	2
柱カバー	2
取扱説明書	1

■積雪地用桁セット(勾配上)

名 称	員 数
桁(勾配上)	1
取付説明書	1

■積雪地用桁セット(勾配下)

名 称	員 数
桁(勾配下)	1

■積雪地用前後桁セット

名 称	員 数
前後桁	左右各 1
梁	1

■縦連棟部材セット

名 称	員 数
縦連棟カバー	2
前後桁連結金具	3
M 8 × 55六角ボルト(PW・袋ナット付)	3
φ 5 × 12ナベタッピン(3種)	12

■積雪地用部品セット

名 称	員 数	
	50型	56型
折板固定部品	28	32
ルーフボルトキャップ	28	32
柱キャップ	4	6
面戸板補強金具(水上)	4	4
面戸板補強金具(水下)	4	4
桁固定金具	4	6
梁取付金具	2	2
コーナーキャップ	左右各 2	—
桁端部キャップ	左右各 2	—
柱カバー保護キャップ	4	4
雨受け	4	4
水止めテープ(折板用)	14	16
桁倒れ止め金具	4	6
アンカー棒	4	6
ブチルシーリング材(100g)	1	1
雨樋キャップ	4	4
雨樋パッキン	4	4

■横連棟部材セット

名 称	員 数
横連棟カバー	3
φ 5 × 12ナベタッピン(3種)	18

■横連棟用柱セット

名 称	員 数	
	1本入	2本入
横連棟柱	1	2
柱カバー	1	2

■積雪地用ポリカーボネイト折板用補強部材セット

名 称	員 数
折板補強部材	2
折板補強カバー	2
折板固定部材	24
M 5 座金	16
M 5 用パッキン	16
折板補強材キャップ	8
φ 4 × 20ナベタッピン(2種)G=5	16
φ 4 × 10ナベタッピン(3種)	14

■積雪地用部品セット(つづき)

名 称	員 数	
	50型	56型
M 6 × 14六角ボルト	16	20
M 6 平座金	16	20
M 6 ナット	16	20
M 8 × 25六角ボルト(Wセムス)	8	12
M 8 × 20六角ボルト	8	12
M 8 平座金	8	12
M 8 バネ座金	8	12
M 8 ナット	8	12
φ 4 × 16ナベタッピン(3種)	36	36
φ 4 × 13サラテクス	8	8
φ 4 × 20サラタッピン(3種)	8	12
φ 5 × 15ナベタッピン(2種)セムス	62	68
φ 5 × 12ナベタッピン(3種)	16	18
仮止めテープ	1	1
雨樋アタッチメント	4	4

■積雪地横連棟用部品セット

名 称	員 数	
	50型	56型
折板固定部品	28	32
ルーフボルトキャップ	28	32
面戸板補強金具(水上)	4	4
面戸板補強金具(水下)	4	4
桁固定金具	2	3
梁取付金具	2	2
コーナーキャップ	左右各 2	左右各 2
桁端部キャップ	左右各 2	左右各 2
柱カバー保護キャップ	2	2
雨受け	2	2
水止めテープ(折板用)	14	16
アンカー棒	2	3
ブチルシーリング材(100g)	1	1
雨樋キャップ	4	4
雨樋パッキン	4	4
M 6 × 14六角ボルト	8	8
M 6 平座金	8	8
M 6 ナット	8	8
M 8 × 25六角ボルト(Wセムス)	4	6
M 8 × 20六角ボルト	8	12
M 8 平座金	8	12
M 8 バネ座金	8	12
M 8 ナット	8	12
φ 4 × 16ナベタッピン(3 種)	36	36
φ 4 × 13サラテクス	4	4
φ 5 × 15ナベタッピン(2 種)セムス	62	68
φ 5 × 12ナベタッピン(3 種)	12	13
仮止めテープ	1	1
雨樋アタッチメント	4	4

■屋根材セット(スチール折板)

名 称	員 数
スチール折板(1 枚入)	1
スチール折板(2 枚入)	2

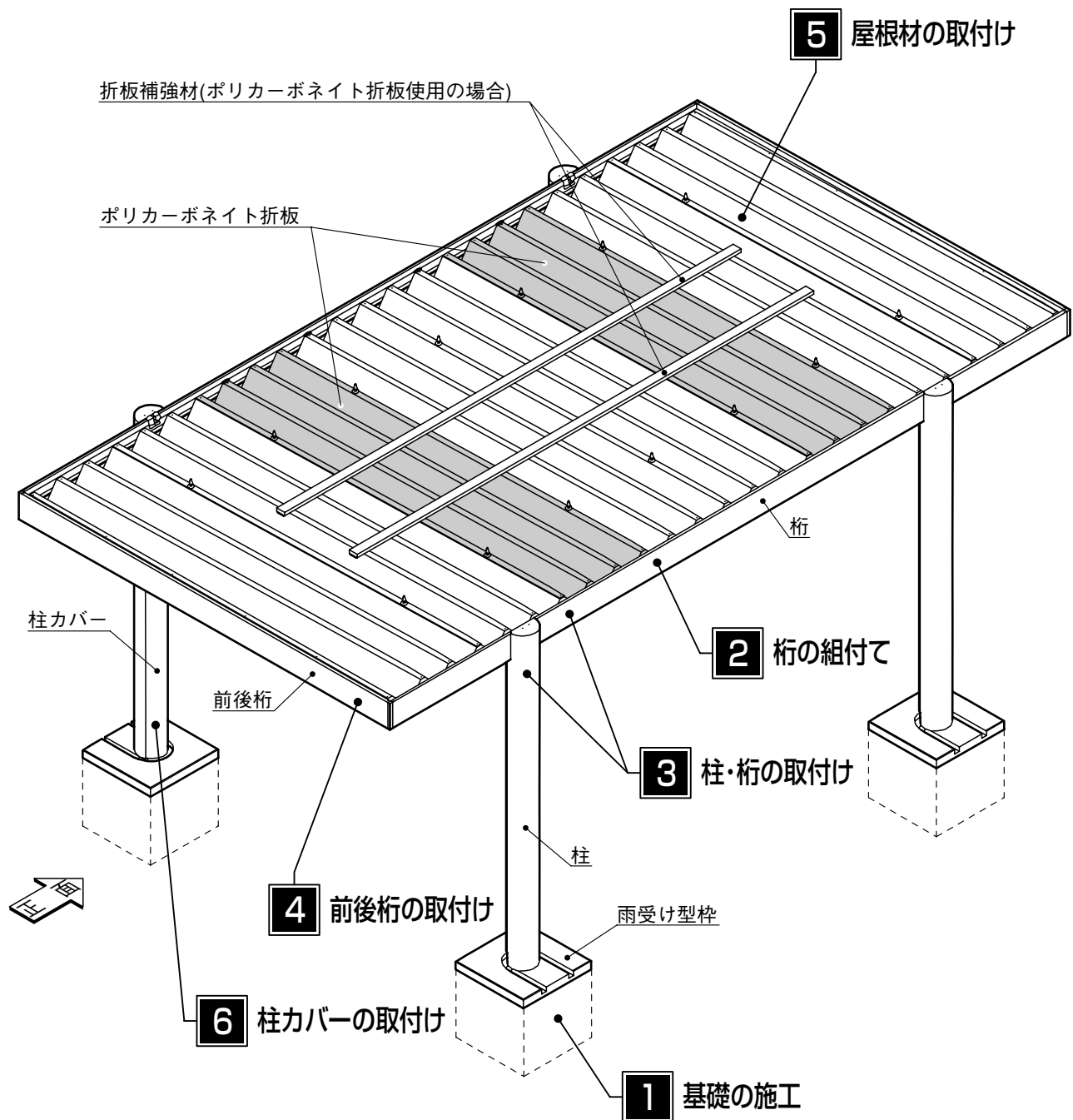
■屋根材セット(ポリカーボネイト折板)

名 称	員 数
ポリカーボネイト(2 枚入)	2

基本タイプ

各部の名称と施工手順

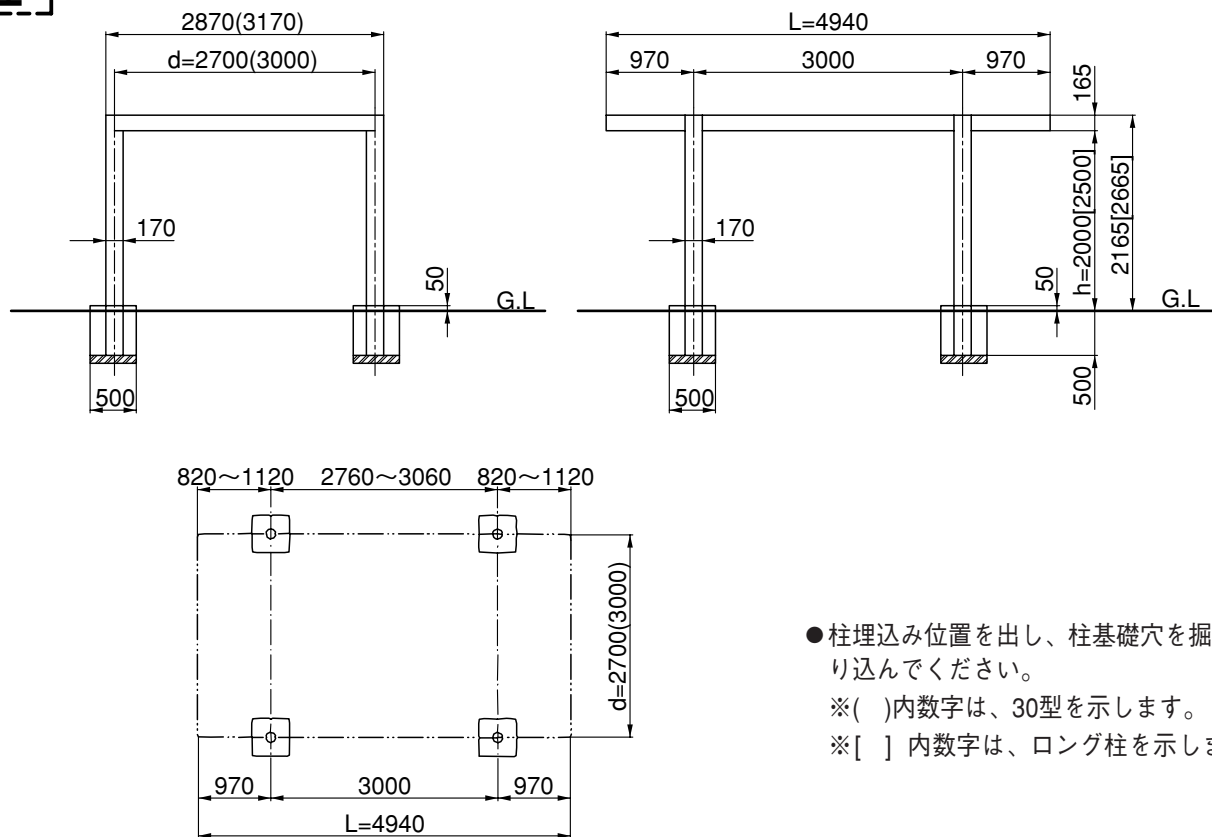
■1～■6 は、基本タイプ施工手順(8～12ページ)を示しています。



●本図はポリカーボネイト折板タイプ50型(採光タイプ)を示します。

基本寸法

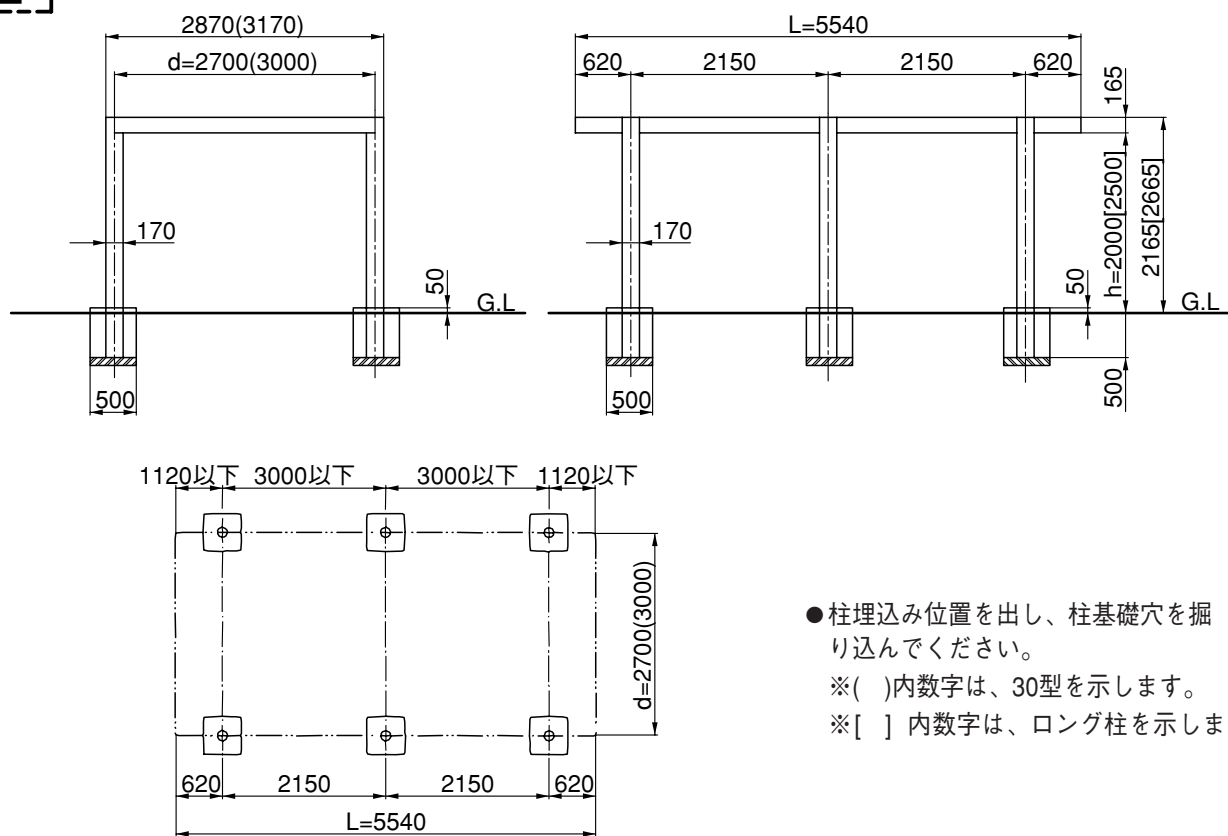
50型



墨出し位置

- 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。
- ※()内数字は、30型を示します。
- ※[]内数字は、ロング柱を示します。

56型

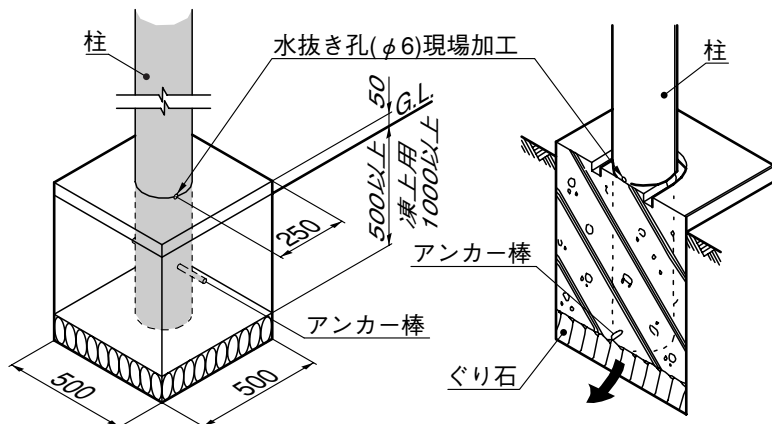


墨出し位置

- 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。
- ※()内数字は、30型を示します。
- ※[]内数字は、ロング柱を示します。

基本タイプ施工手順

1 基礎の施工



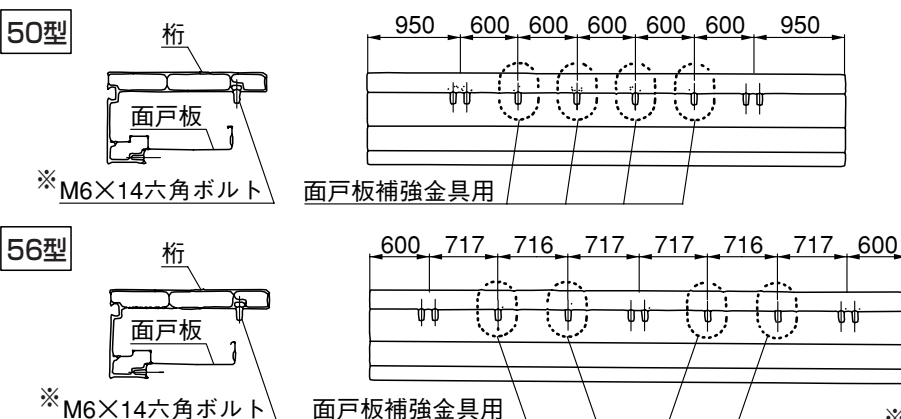
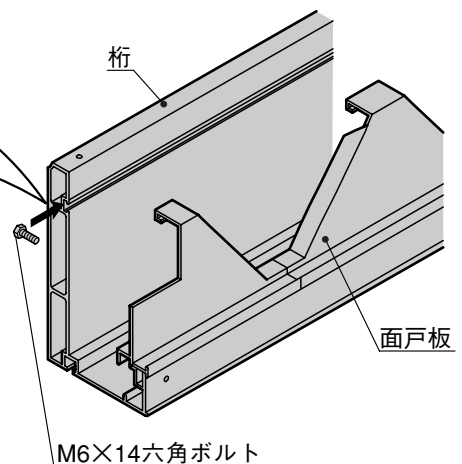
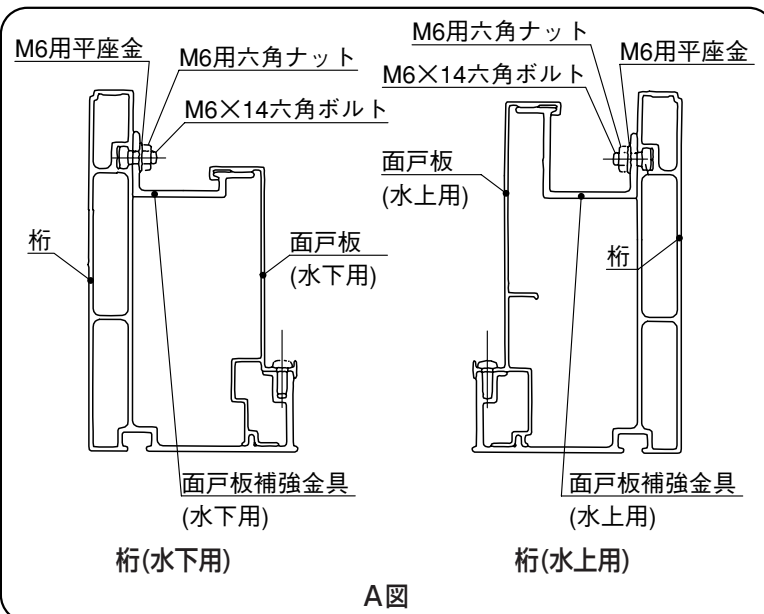
- ① 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。

注意

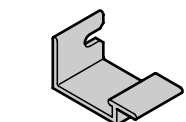
- 取付け現場の状況に応じて屋根の水勾配方向を決定してください。
- 柱の根元には水抜き孔(φ6)を現場にてあけてください。

2 桁の組立て

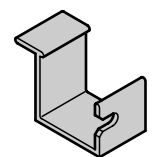
- ① 桁にM6×14六角ボルトを入れ、B図に従って指定の位置に六角ボルトを配置してください。
- ② 面戸板補強金具を面戸板に引っ掛けて、M6×14六角ボルトを締め付けてください。(A図参照)



B図(六角ボルト取付位置)



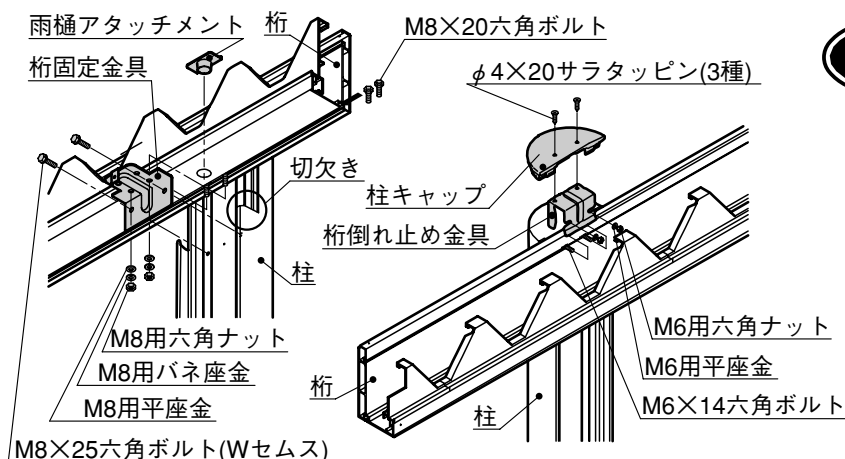
面戸板補強金具
(水用)



面戸板補強金具
(水上用)

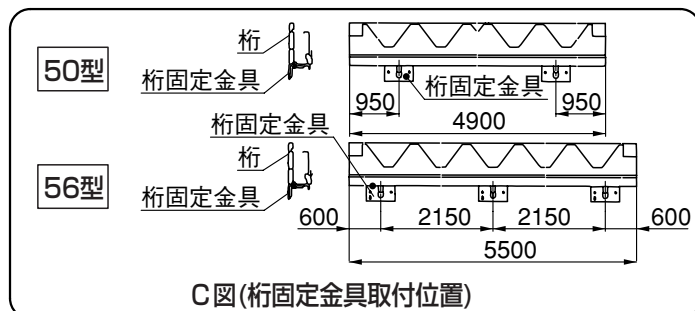
※50型には計8本、56型には計10本のM6×14六角ボルトを入れてください。

3 柱・桁の取付け

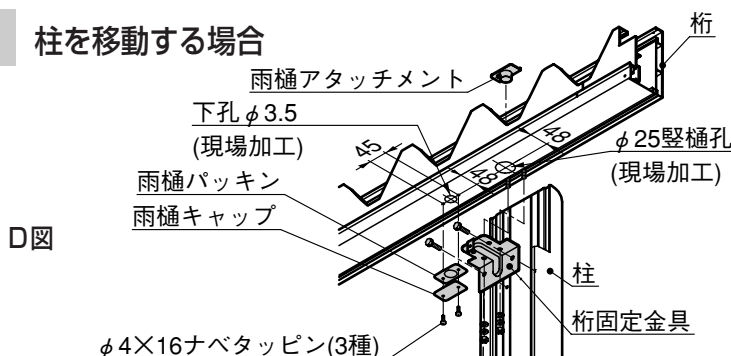


A図

B図



3-1 柱を移動する場合



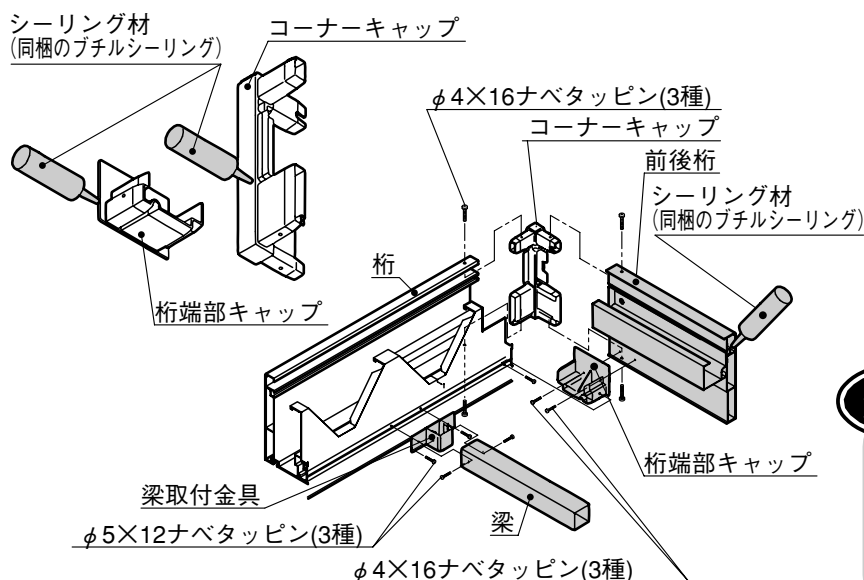
D図

注意

- 取付け現場の状況に応じて屋根の水勾配方向を決定してください。
- 取付け前に桁の水上用、水下用を確認してください。
- 六角ボルトの挿入本数は、桁1本あたり50型は4本、56型は6本です。
- 柱の移動範囲は±150mmです。

- 1 桁にM8×20六角ボルトを入れ、桁固定金具をC図に従って指定の位置に取付けてください。
- 2 柱の切欠きに桁をのせ、M8×25六角ボルト(Wセムス)で柱に固定してください。(A図参照)
- 3 桁倒れ止め金具を柱と桁に差込み、「2. 桁の組立て」で入れたM6×14六角ボルトを締め付けてください。(B図参照)
- 4 柱キャップをφ4×20サラタッピン(3種)で取付けてください。(B図参照)
- 1 柱を移動する場合は、取付位置にφ25の縦樋孔をあけてください。(現場加工)(D図参照)
- 2 使用しない標準孔の両側に、下孔φ3.5をあけて雨樋パッキン、雨樋キャップをφ4×16ナベタッピン(3種)で取付けてください。(現場加工)(D図参照)

4 前後桁の取付け



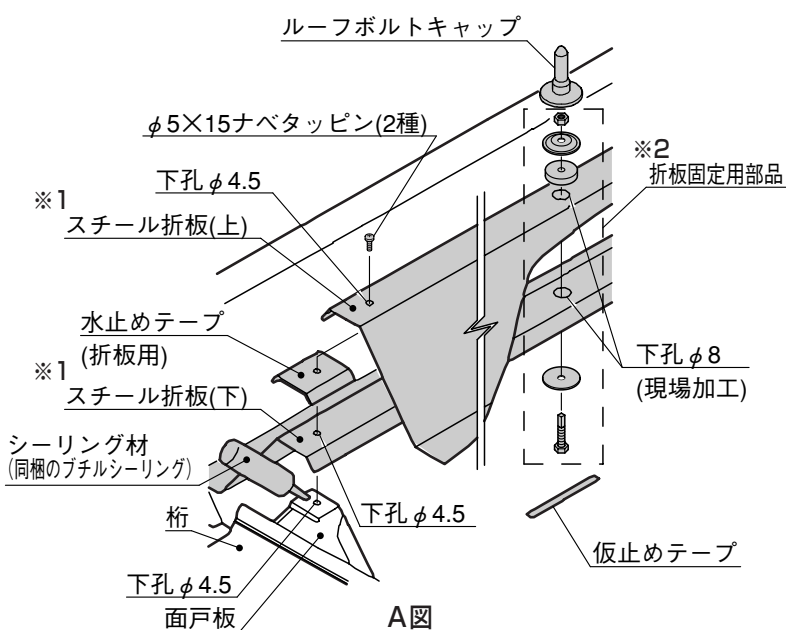
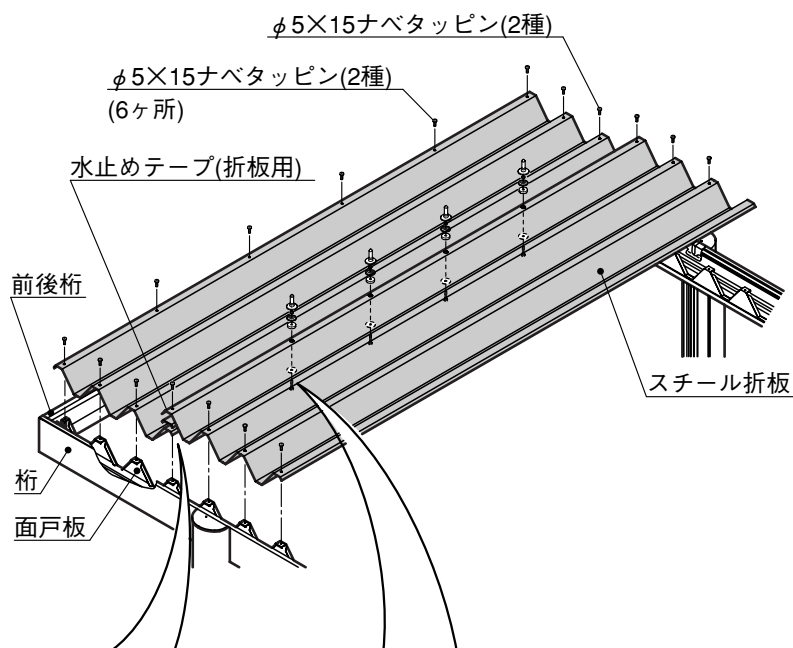
- 1 桁端部キャップおよびコーナーキャップにシーリング材を充てんしてください。
- 2 前後桁に桁端部キャップを固定してください。
- 3 前後桁にコーナーキャップをφ4×16ナベタッピン(3種)でネジ止めし、桁にはめ込んで固定してください。
- 4 梁に梁取付金具をφ5×12ナベタッピン(3種)で固定し、桁に取付けてください。

注意

- 屋根材まわりの対角、水平および柱の垂直を出してください。
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

5 屋根材の取付け

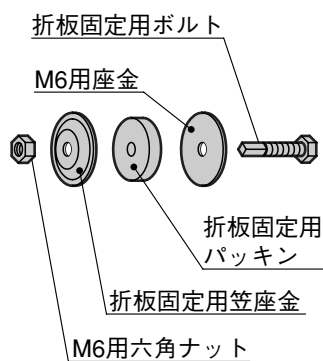
5-1 スチール折板の取付け



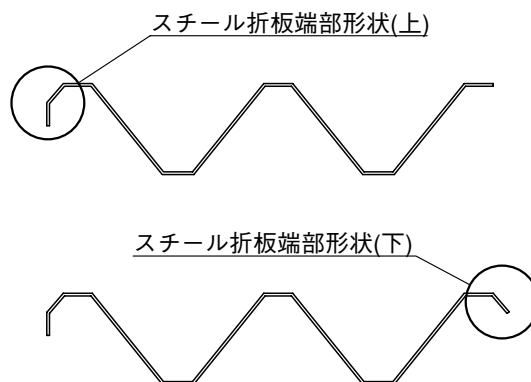
- ① スチール折板端部を重ね、屋根材にのせてください。
- ② 重ね合わせ部に下孔φ8を4ヶ所あけてください。(現場加工)(A図参照)
- ③ 重ね合わせ端部に水止めテープを貼ってください。(A図参照)
- ④ 下から折板固定用部品の折板固定ボルトを差込み、ボルトを落下させないため仮止めテープを貼ってください。(A図参照)
- ⑤ 折板固定用部品のM6用六角ナットで固定し、仮止めテープをはがしてください。
- ⑥ 前後桁に下孔φ4.5をあけてシーリング材を充てんし、スチール折板をφ5×15ナベタッピン(2種)でネジ止めしてください。(現場加工)

注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- スチール折板端部形状には上・下がありますので、A図に従って重ね合わせてください。(※1)
- スチール折板下穴加工時の切粉は掃除機等で完全に除去してください。サビの原因となります。



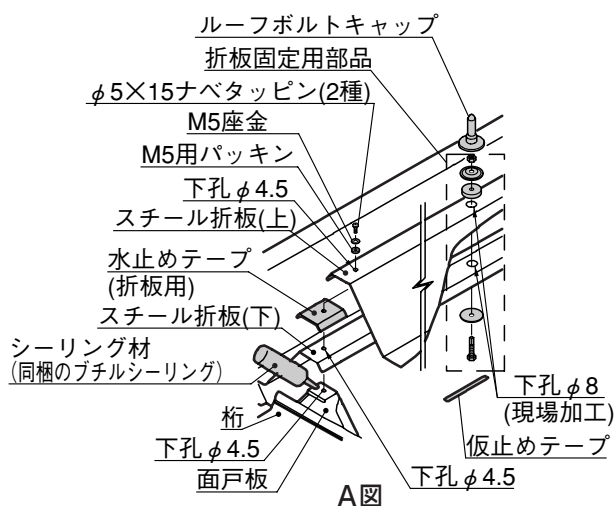
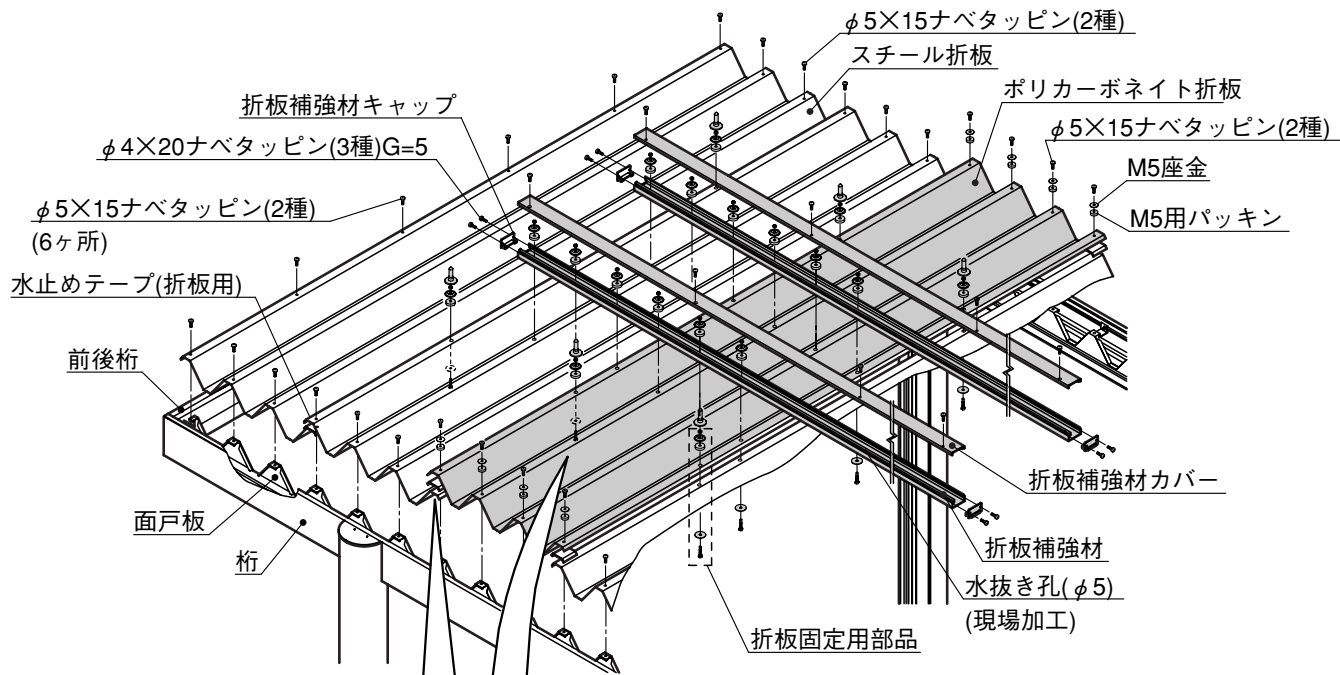
※2 折板固定用部品



※1 スチール折板端部形状

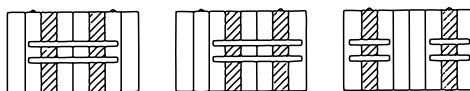
5-2 ポリカーボネイト折板の取付け(折板の取付可能位置は限定されますのでB図を参照してください。)

- 1 ポリカーボネイト折板をスチール折板に重ね、桁にのせてください。
- 2 重ね合わせ部に下孔 $\phi 8$ を4ヵ所あけてください。(現場加工)
- 3 スチール折板の場合と同じ要領で取付けてください。
- 4 折板補強材の中程(折板谷部)に水抜き孔($\phi 5$)をあけてください。(現場加工)
- 5 両端に折板補強キャップを $\phi 4 \times 20$ ナベタッピン(3種)で取付けてください。

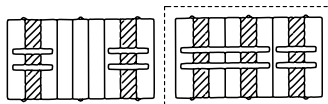
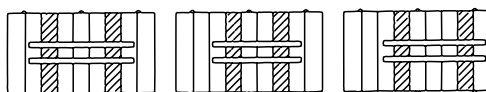


A図

50型



56型



このタイプは、ポリカーボネイト折板・取付部材が追加になります。

※ 斜線部...ポリカーボネイト折板

B図 ポリカーボネイト折板取付可能位置

お願い

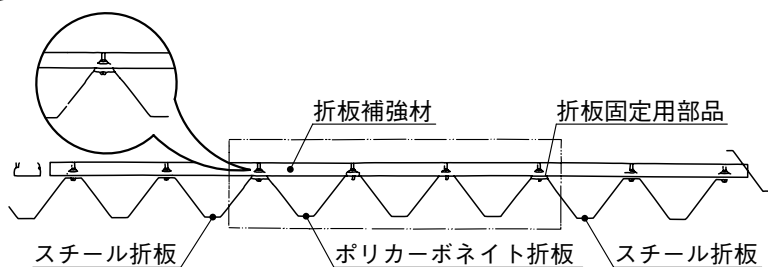
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネイト板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。

注意

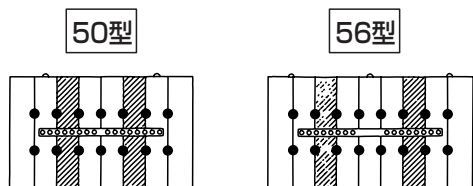
- ポリカーボネイト折板はA図に従って重ね合わせてください。

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコン	トスシール380
トーレシリコン	SE960

5 つづき



C図(折板補強材取付け断面図)



D図(折板固定用部品取付け位置図)

- ※ 部...
ポリカーボネイト
折板
- ※ 部...
折板固定用部品

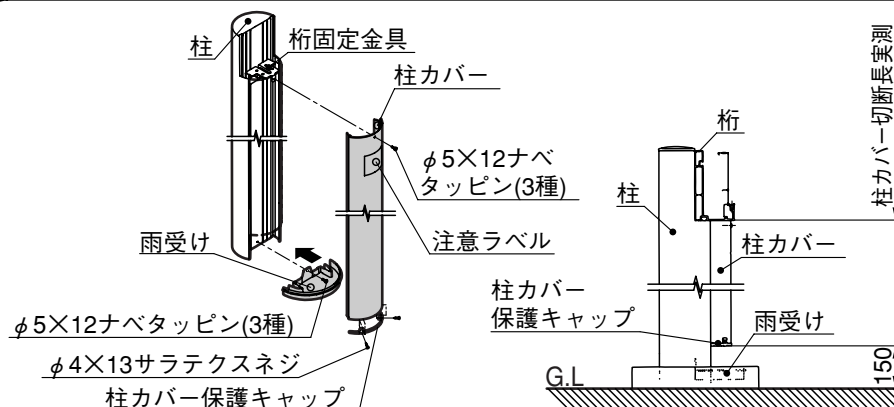
6 折板補強材取付け断面図(C図参照)、折板固定用部品取付け位置図(D図参照)に従って、折板補強材をポリカーボネイト折板とスチール折板に固定してください。

7 折板補強材カバーをφ4×10ナベタッピン(3種)で取付けてください。

注意

- 絶対にポリカーボネイト折板同士を重ね合わせないでください。
- 切粉、バリを掃除機等で完全に取除いてください。サビの原因となります。

6 柱カバーの取付け



- 1 雨受けを柱にφ5×12ナベタッピン(3種)で取付けてください。
- 2 柱カバーを必要な長さ(現場実測)に切断し、柱にはめ込んでφ5×12ナベタッピン(3種)で取付けてください。
- 3 柱カバー保護キャップを柱カバーにφ4×13サラテクスネジで固定してください。
- 4 雨受け型枠を取付けてください。(現場で用意)

注意

- 凍上のおそれのある地域の場合、雨受けは取付けないでください。地盤の変化により、雨受けが破損する可能性があります。
- 柱カバーは下端が雪に埋まらないよう、G.L面より150mm程度離して取付けてください。柱カバーが破損するおそれがあります。
- 雨受け型枠は現場で用意してください。
- 雨受け型枠はコンクリートが固まった後、取りはずしてください。

施工後の確認

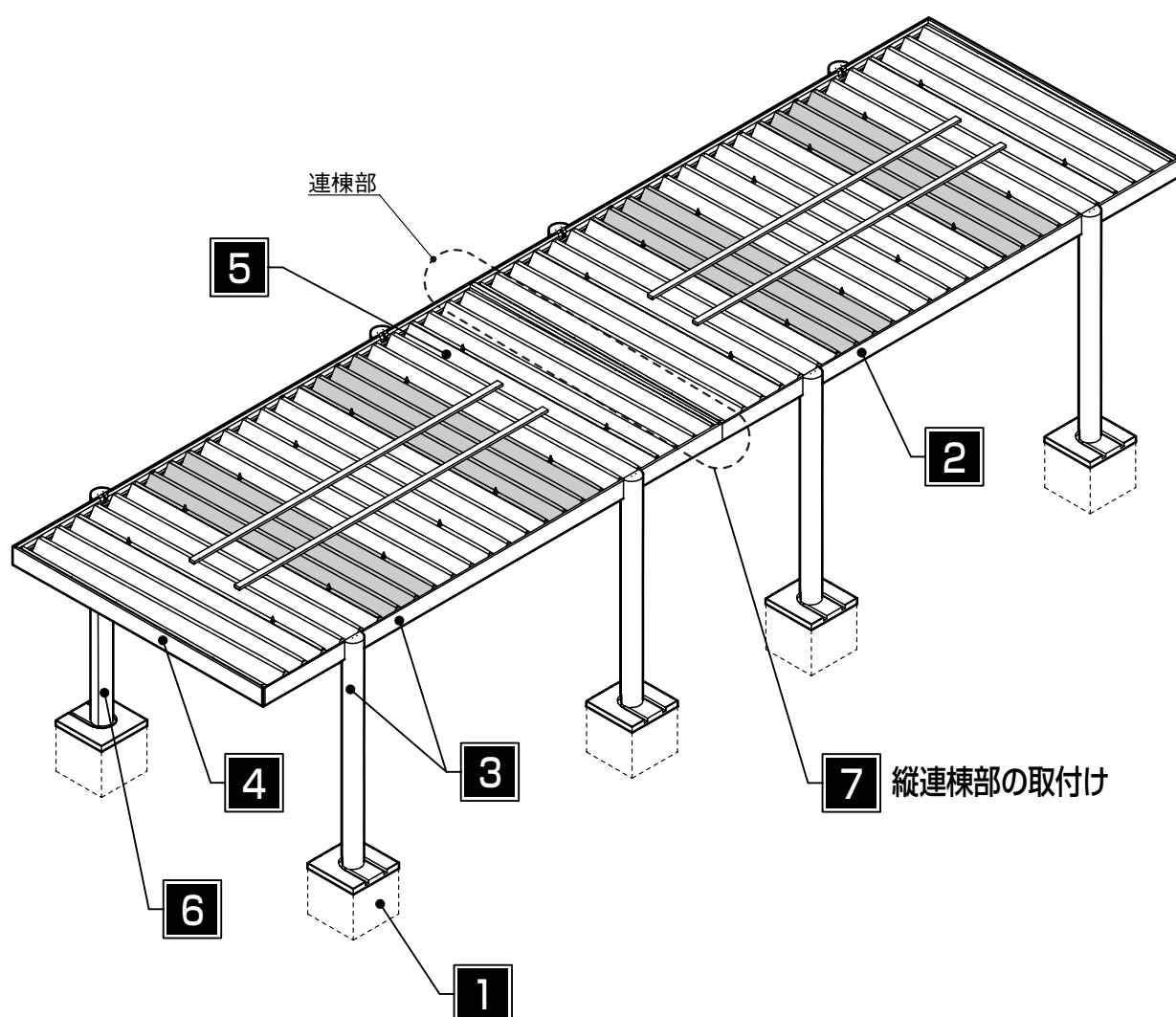
施工終了時または、お客様へお引き渡し前に、下記事項を必ず確認してください。

- 1 各部のネジのゆるみがないことを確認してください。
- 2 部品が正常な位置に取付けられていることを確認してください。
- 3 製品の汚れを取り除いたことを確認してください。

縦連棟タイプ

各部の名称と施工手順

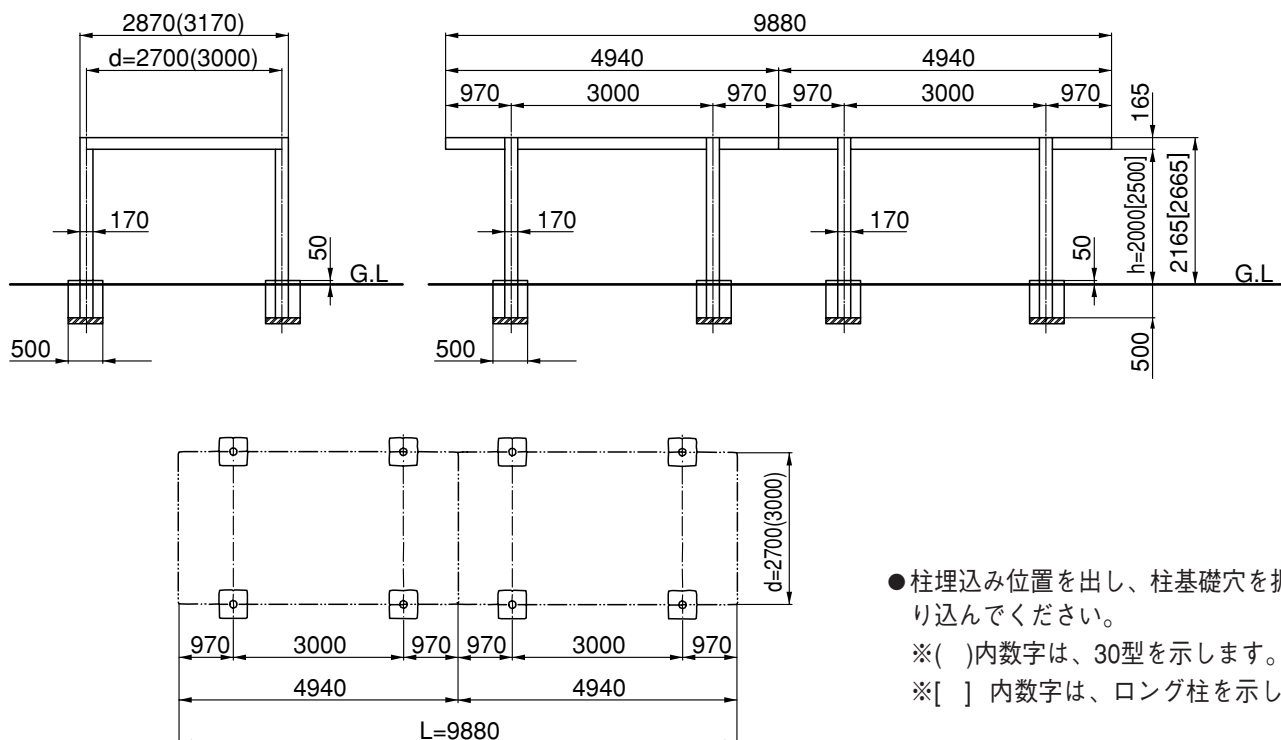
■1～■6 は、基本タイプ施工手順(8～12ページ)を示しています。



●本図はポリカーボネイト折板タイプ50型(採光タイプ)を示します。

基本寸法

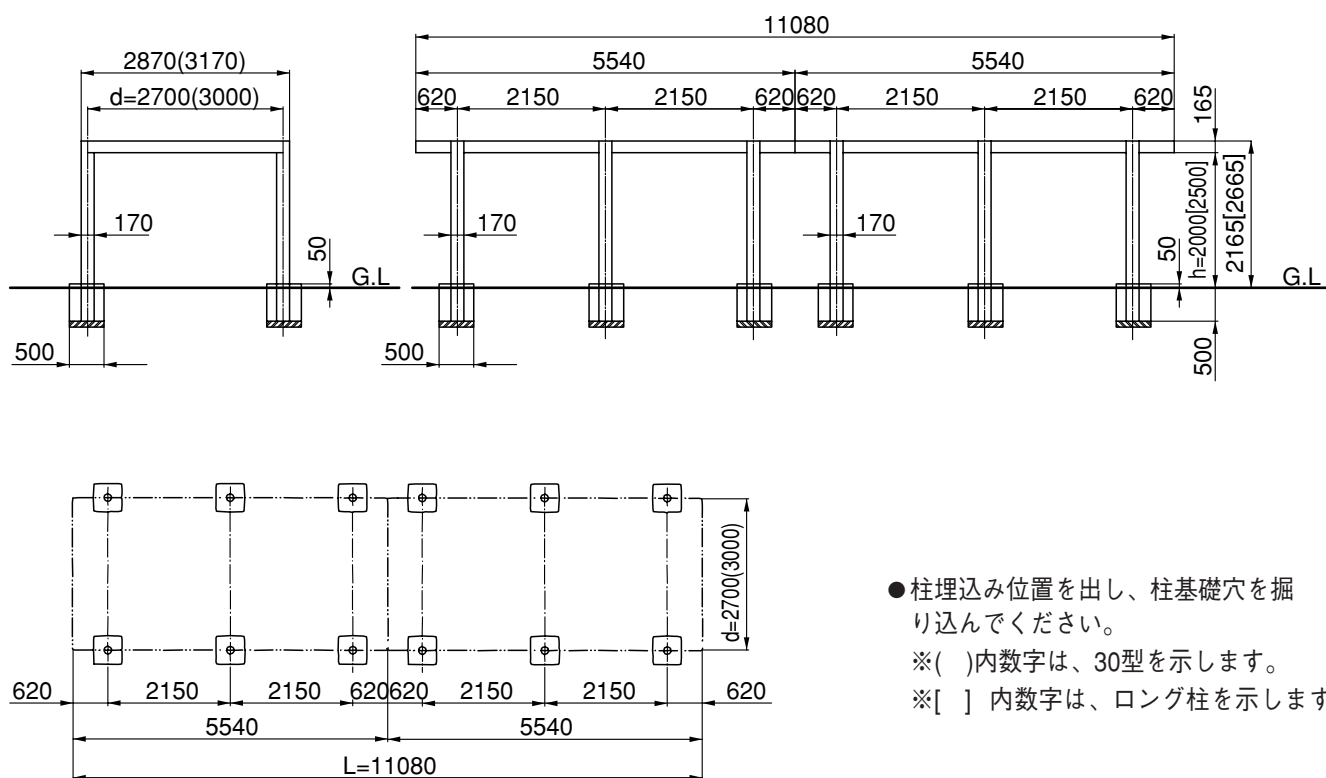
50型



墨出し位置

- 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。
- ※()内数字は、30型を示します。
- ※[]内数字は、ロング柱を示します。

56型



墨出し位置

- 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。
- ※()内数字は、30型を示します。
- ※[]内数字は、ロング柱を示します。

縦連棟タイプ施工手順

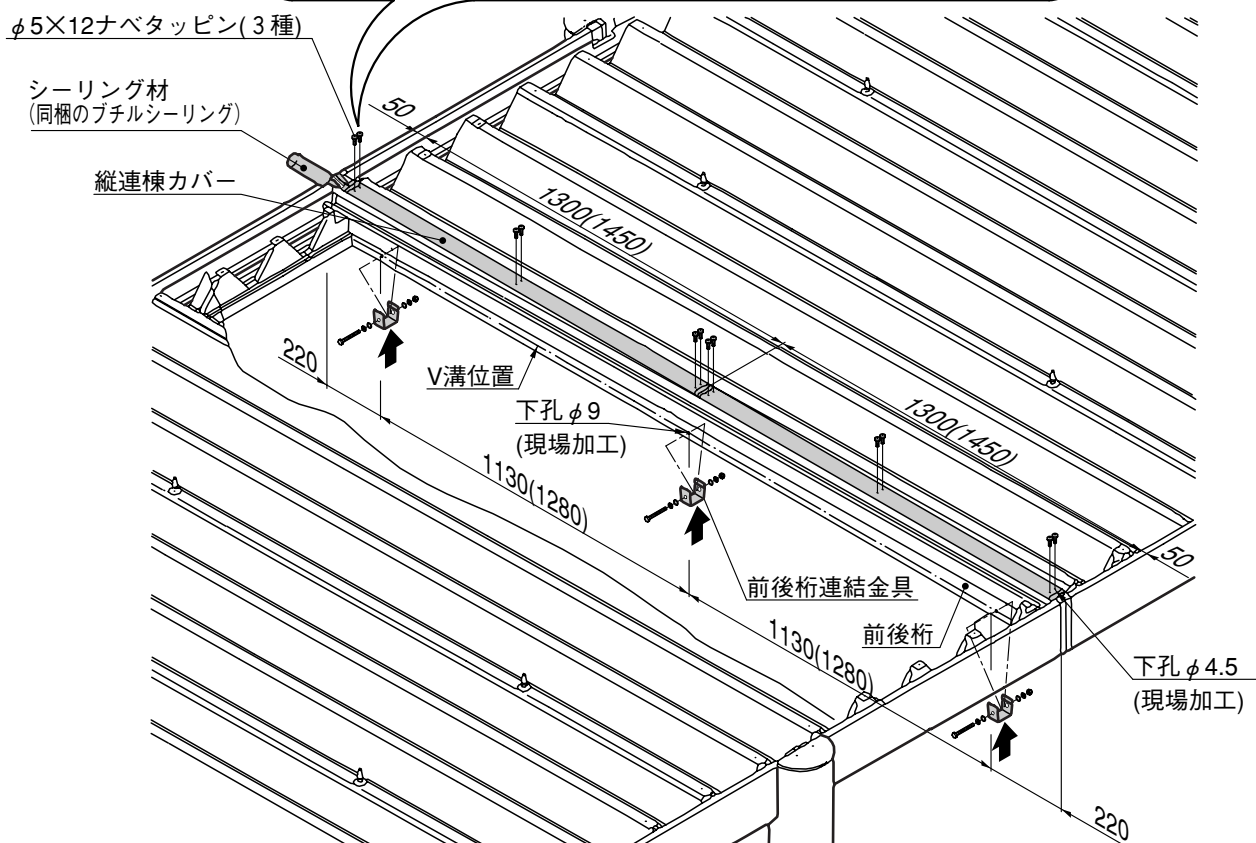
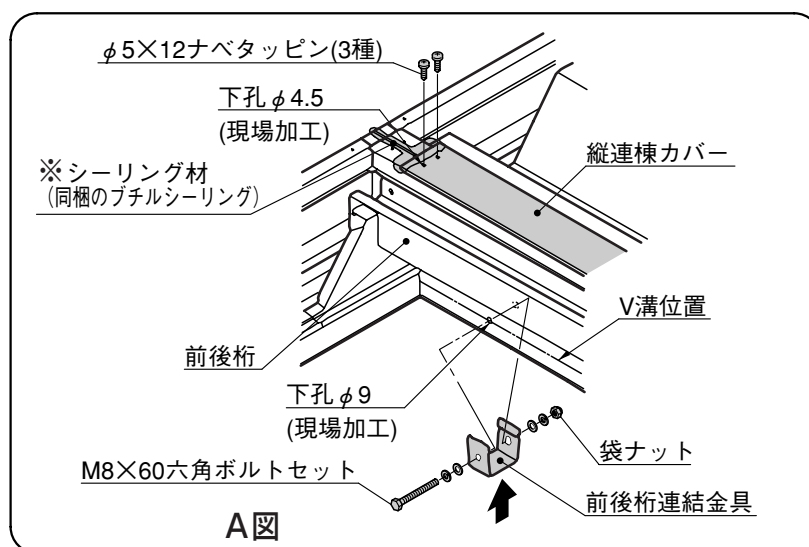
①～⑥ までは基本タイプと同様です。
(縦連棟以外の取付けは基本タイプを参照してください。)

7 縦連棟部の取付け

- ① 前後桁のV溝に下孔 $\phi 9$ をあけ、前後桁連結金具(3個)をM8×60六角ボルトセットで固定してください。(A図参照)
- ② 縦連棟カバーに下孔 $\phi 4.5$ をあけ、前後桁の上に縦連棟カバーを $\phi 5 \times 12$ ナベタッピン(3種)で取付けてください。(A図参照)

注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- (※)縦連棟カバーの継ぎ目および端部にシーリング材を充てんしてください。

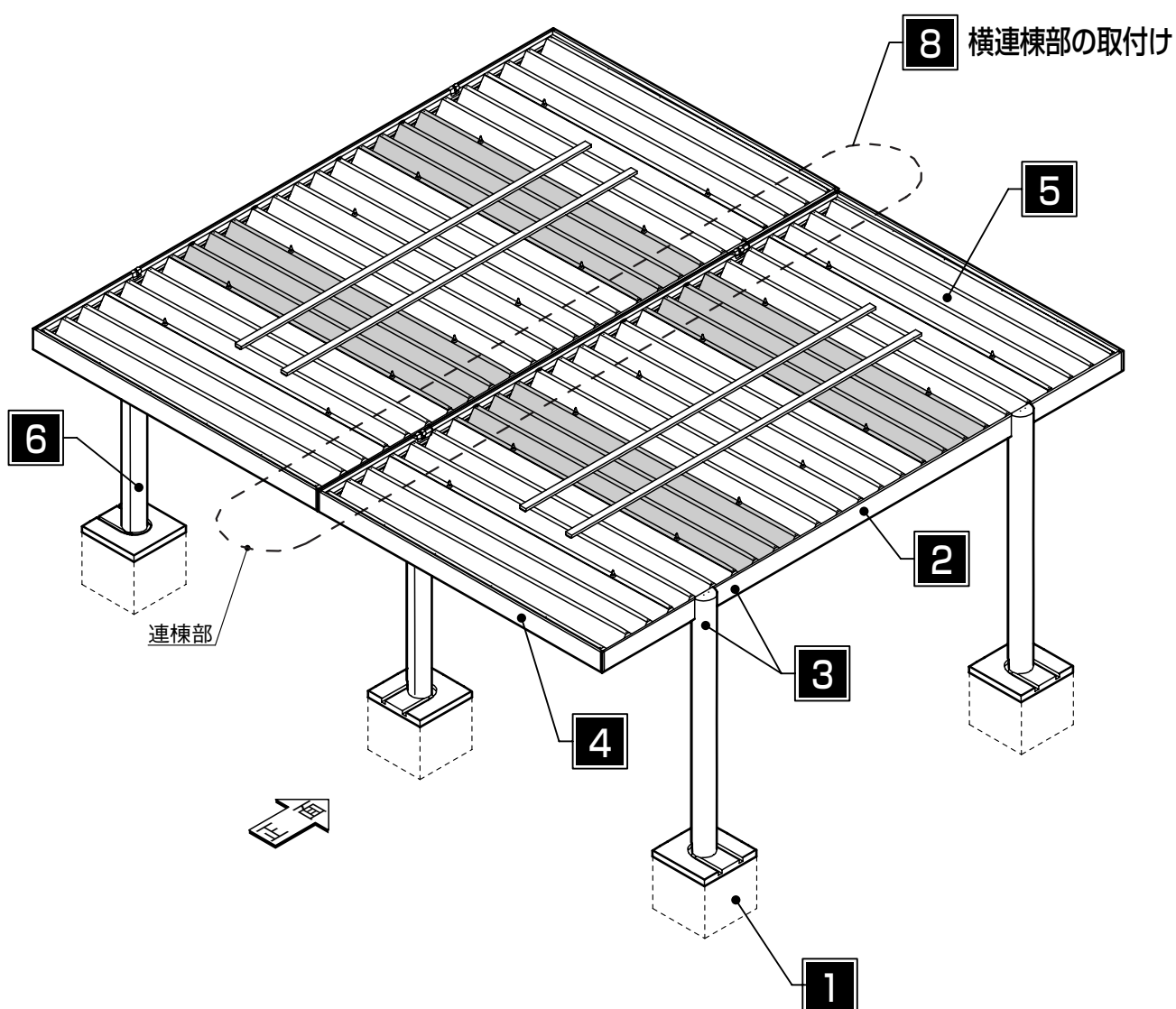


※()内数字は30型を示します。

横連棟タイプ

各部の名称と施工手順

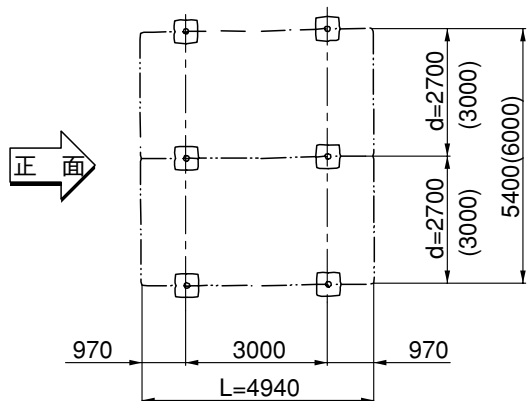
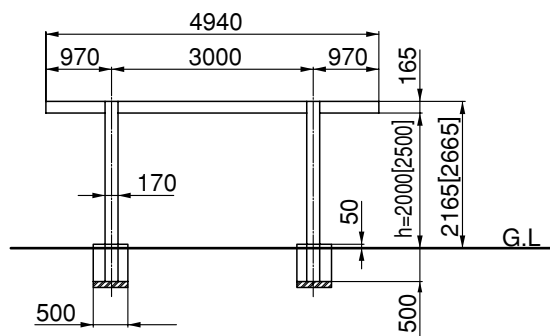
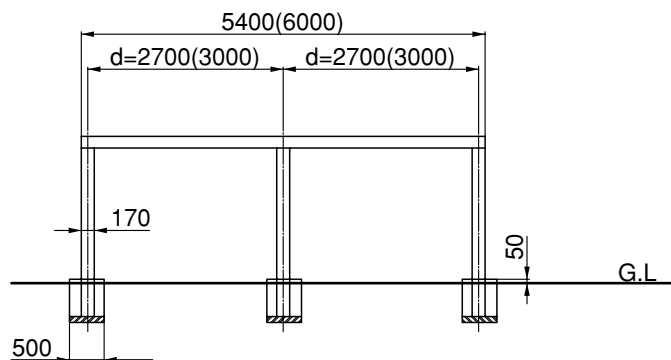
■1～■6 は、基本タイプ施工手順(8～12ページ)を示しています。



●本図はポリカーボネイト折板タイプ50型を示します。

基本寸法

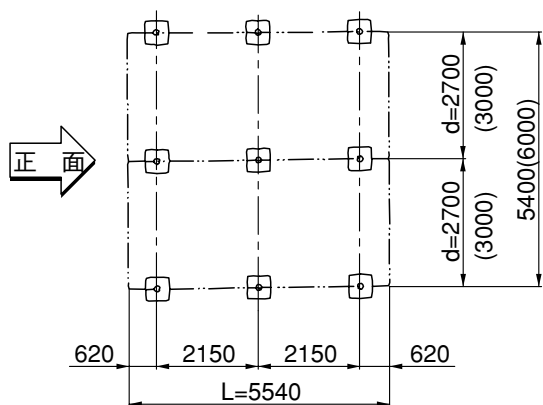
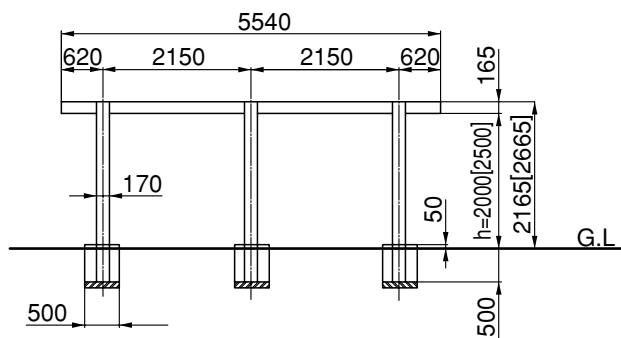
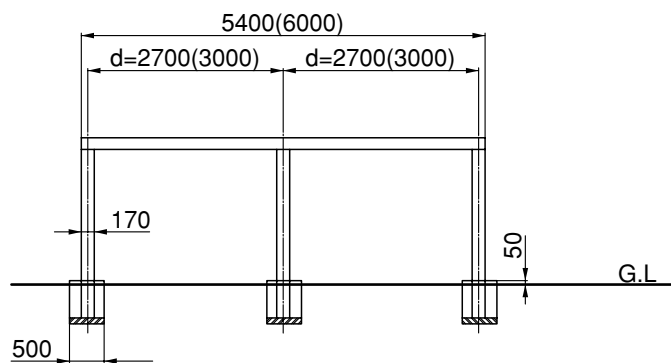
50型



墨出し位置

- 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。
- ※()内数字は、30型を示します。
- ※[]内数字は、ロング柱を示します。

56型



墨出し位置

- 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。
- ※()内数字は、30型を示します。
- ※[]内数字は、ロング柱を示します。

横連棟タイプ施工手順

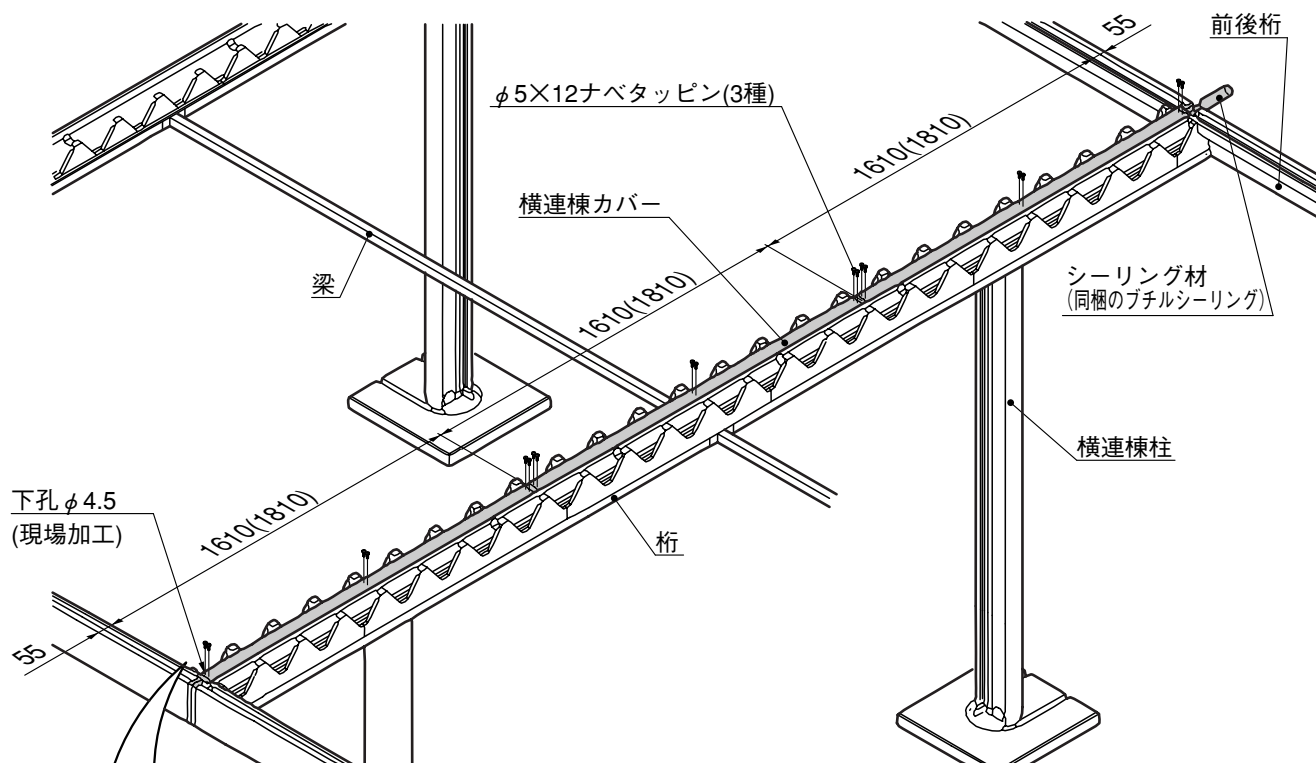
①～⑥までは基本タイプと同様です。
(横連棟以外の取付けは基本タイプを参照してください。)

⑧ 横連棟部の取付け

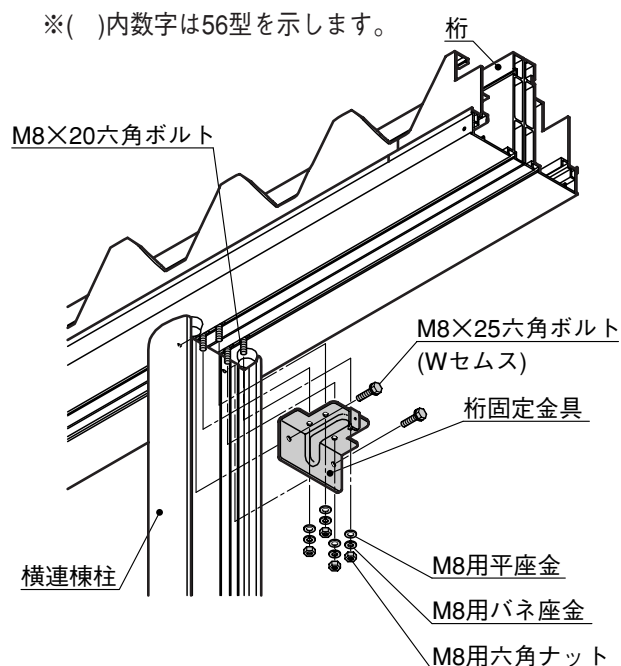
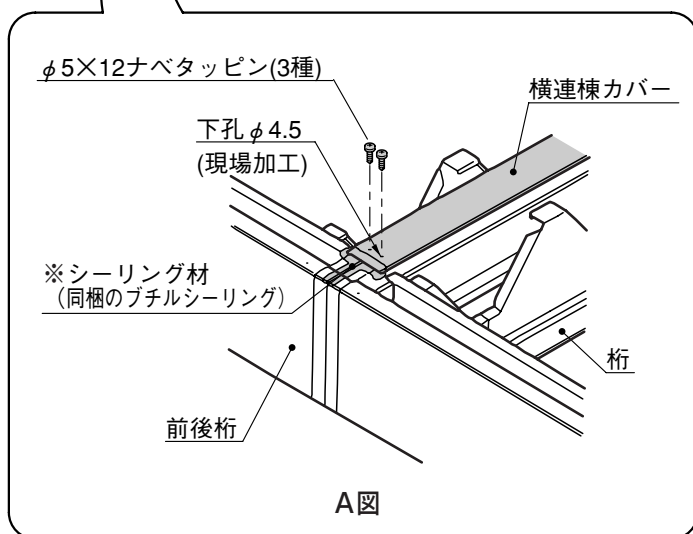
- ① 桁横連棟部に桁固定金具を取付け、横連棟柱を固定してください。
- ② 下孔φ4.5をあけ、桁の上に横連棟カバーをφ5×12ナベタッピン(3種)で取付けてください。(現場加工)
(A図参照)

注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- (※)横連棟カバーの継ぎ目および端部にシーリング材を充てんしてください。



※()内数字は56型を示します。



『施工後の確認』は、12ページの基本タイプと同様に行なってください。

